

小紋のきものに名古屋帯でおしゃれに着こなしましょう

必要なもの

- ・補正用タオル3本
- ・腰ひも3本
- ・伊達締め2本
- ・足袋
- ・肌襦袢、裾よけ(キャミソール、ペチコート)
- ・長襦袢またはフェイクカラー
- ・きもの
- ・名古屋帯
- ・帯板
- ・帯枕
- ・帯揚げ
- ・帯締め

着付け順序とポイント

1. 足袋、裾よけ、肌襦袢をつけます。
2. 補正をつける。
3. 長襦袢...衣紋を抜いて衿を左右対称に合わせます。

補正



胸の補正



ヒップの補正

長襦袢



きもの



背中心を決める



上前巾を決める



腰紐はしっかりと結ぶ



身八つ口より手を入れ
おはしりを整える



衿を決め紐で抑える



伊達締めをする



帯板をする

帯結び



手先50cm(柄による)
輪を外に胴に二巻する



胴に二巻きしたら
手先を肩から下ろす



手先は左の方に折り返す



垂れは上に向かって折り返す



手先・垂れ両方の根元にかかる様に仮紐でおさえる



垂先を下ろす



帯枕を入れお太鼓の山を整える



帯枕に帯揚げをかけて前で整える



仮紐でお太鼓の下線を決める
目安は胴回りの下線と同じ位置



下の線が決まったら
残りを内側に折り込む



そのまま仮紐を前で結びます



手先・垂れの根元を押さえた仮紐

お太鼓の下線を決めた仮紐



一番目の仮紐をほどく



手先をお太鼓の中へ



ここに帯締めを通す

手先を左右ともに2cmほど出す

帯締め



完成です！！